

# 今後の博士後期課程学生への支援事業の在り方 (案)

令和7年6月  
科学技術・学術政策局  
人材政策課

# 博士課程学生支援の施策体系（3つの柱）

## ① トップ層の若手研究者の個人支援

### 【主な取組】特別研究員事業（DC）

支援額：240万円（+ 科研費最大150万円応募可能）  
+ 最終年度の在籍者\*に特別手当36万円/年  
（\* 採用期間中に優れた研究成果を上げ、更なる進展が期待される者）

支援規模：約4,100人

令和7年度予算額：106億円

（日本学術振興会（JSPS）の運営費交付金の内数）

➡ トップ研究者への登竜門として支援を充実

## ③ RA（リサーチ・アシスタント）経費の適正化

### 【主な取組】創発的研究支援事業 （博士課程学生等へのRA支援充実）

支援額：最大240万円（RAとしての労働対価）  
支援規模：約300人 ※既に採択した課題への支援を含む。

令和5年度補正予算額：6億円

（科学技術振興機構（JST）創発的研究推進基金）  
別途、大学ファンドの運用益も充当

➡ 適正な対価の支払いを当たり前！

※競争的研究費等からの、適切な水準でのRA経費の支給を推進

## ② 所属大学を通じた機関支援

### 【主な取組】

#### 博士後期課程学生の処遇向上と研究環境確保 （SPRING）

○ 優秀で志のある博士後期課程学生が研究に専念するための  
経済的支援（生活費相当額及び研究費）及び博士人材が  
産業界等を含め幅広く活躍するためのキャリアパス整備を一体  
として行う実力と意欲のある大学を支援する。

支援額：原則290万円

（生活費相当額・研究費とキャリアパス整備費を含む）

支援規模：約11,100人

令和5年度補正予算額：499億円

令和7年度予算額：0.3億円 別途、大学ファンドの運用益も充当

#### 博士国家戦略分野の若手研究者及び博士後期課程 学生の育成（BOOST：次世代AI人材育成プログラム）

○ 国家戦略分野への挑戦を志す研究者・博士後期課程学生に  
特化した支援事業（以下博士支援抜粋）

支援額：原則390万円

支援規模：約400人

令和5年度補正予算額：70億円（全体213億円）

➡ 博士人材の多様な活躍に向けて、経済的  
支援とキャリアパス整備を一体的に実施

【参考】第6期科学技術・イノベーション基本計画

2025年度までに、生活費相当額（年180万円以上）を受給する博士後期課程学生を従来の3倍（約22,500人）に増加

# 今後のSPRINGにおける支援の在り方（案）

## <事業趣旨>

1. 主として**優秀な日本人学生の博士後期課程への進学**を支援すること。
2. 在学中、**学生が安心して、自由な発想のもとに主体的に研究課題等を選びながら研究活動に専念**できるようにすること。
3. 博士号取得者が、**アカデミア・産業界など、社会の多様な場で活躍**できるよう、**大学がキャリア支援や環境整備を行う**こと。

対象	現行の支援内容及び見直しの方向性
日本人学生※	<p>&lt;研究奨励費（生活費相当額）&gt; ➡ <b>事業趣旨の観点から見直しを検討</b> 180万円～240万円/年（平均220万円/年）</p> <p>&lt;研究費&gt; ➡ <b>優秀な学生に対する研究費支援の重点化など、支援の階層化を検討</b> 0円は不可（平均40万円/年）。 研究奨励費（生活費）と研究費の合算は220万円以上。</p> <p>キャリア開発・育成コンテンツ費、大学事務費を含めて最大290万円/枠・年を支援。</p>
留学生 ➡ <b>国・地域の多様化に向けた取組の更なる促進</b>	<p>&lt;研究奨励費（生活費相当額）&gt; ➡ <b>事業趣旨の観点から見直しを検討</b> 180万円～240万円/年（平均220万円/年）</p> <p>&lt;研究費&gt; ➡ <b>優秀な学生に対する研究費支援の重点化など、支援の階層化を検討</b> 0円は不可（平均40万円/年）。 研究奨励費（生活費）と研究費の合算は220万円以上。</p> <p>キャリア開発・育成コンテンツ費、大学事務費を含めて最大290万円/枠・年を支援。</p>
社会人学生	支援なし ➡ <b>優秀な学生に対する研究費支援の重点化など、支援の階層化を検討</b>
特別研究員や国費外国人留学生等、他の支援を受給している学生	キャリア開発・育成コンテンツは受講可

※ 現在、企業から給与等を受給されていない等、生活費相当額を受給していない社会人（例えば一度社会に出てから早期に企業等を退職し、博士後期課程に進学した学生等）も含む。